

優

A I Z E N K A I G R O U P

私たちは、人間愛と責任感に基づき、患者さまを中心とした
生命を大切にできる心 思いやりを大切にできる心 学ぶことを大切にできる心
をもって地域の安心づくりに努めます。

1. 人間愛と責任感に基づく、優しい医療に努めます。
2. 患者さまへの十分な説明と同意、並びに患者さまの選択の意志の尊重に努めます。
3. 患者さまのプライバシーを尊重し、また、個人情報の保護と診療情報の提供に十分な配慮をいたします。
4. 良質な医療サービスを提供して、地域の皆さまの安心づくりに貢献します。
5. 入院・通院から在宅まで「継続的な」医療とリハビリテーションの提供に努めます。
6. 常に患者さまの声に耳を傾けて、暖かみのある療養環境づくりに努めます。
7. 良質な医療の提供のため、たゆまざる努力と研鑽に努めます。

患者さまの権利

1. 患者さまは、常に一人の人間として、その人格・価値観が尊重され、医療提供者との相互関係のもとで医療を受ける権利があります。
2. 患者さまは、社会的地位・年齢・性別・信条・疾病の種類などにかかわらず、平等に適切な医療を受ける権利があります。
3. 患者さまは、自分が受ける治療や検査の効果や危険性、他の治療方法の有無などについて十分な説明と情報提供を受ける権利があります。
4. 患者さまは、医療の内容を十分に理解し納得した上で、治療方法などを自らの意志で選択する権利があります。
5. 患者さまは、医療上得られた個人の情報やプライバシーが守られる権利があります。
6. 患者さまは、病気やその療養方法および保健・予防等について教育を受ける権利があります。
7. 良質・安全な医療を実現するためには、患者さまと医療提供者との間のパートナーとしての人的信頼関係と双方のコミュニケーションがきわめて重要になります。

愛全病院 〒005-0813 札幌市南区川沿13条2丁目1-38 代表 011-571-5670

日本医療機能評価機構 Ver5.0認定
外来診療/内科 リハビリテーション科 放射線科 歯科
入院病棟/障害者施設等一般 回復期リハビリ 医療療養 介護療養



クリニックあい 〒005-0813 札幌市南区川沿13条2丁目5-7 代表 011-572-3055

地域に根を張り、地域に信頼されるクリニックを目指しています。
内科外来/月曜日 AM9:00~PM0:00
訪問診療/月曜日 PM1:00~PM5:00 火~金曜日 AM9:00~PM5:00



介護老人保健施設 リラコート愛全 〒005-0813 札幌市南区川沿13条2丁目4-45 代表 011-572-3055

札幌市に初めて誕生した老人保健施設。歴史と信頼に自信があります。
入所施設/定員100名(ショートステイを含む)
通所リハビリ/定員120名



介護老人保健施設 アートヒルズ 〒005-0849 札幌市南区石山837-47 代表 011-592-8500

自然に恵まれた緑豊かな療養環境でのリハビリ施設。
入所施設/定員120名(内認知症専門棟40床。ショートステイを含む)
通所リハビリ/定員150名



介護老人保健施設 ガーデンハウスくりやま 〒069-1513 夕張郡栗山町朝日4丁目9-33 代表 011-592-8500

ぬくもりのある看護・介護がこれからのご家庭での生活に安心とゆとりをご提供いたします。
入所施設/定員100名(ショートステイを含む) 通所リハビリ/定員75名



高齢者総合福祉施設 アビターレ 〒062-0932 札幌市豊平区平岸2条2丁目1-1 代表 011-821-7000

豊かな出会いと触れあいの楽しさ、きっと、たくさんの発見とあなたらしい自立した生活が見つかります。
入所施設/ナーシングホーム 定員80名 グループホーム 定員27名 ティサービス/定員160名



介護老人福祉施設 サン・グレイス 〒005-0813 札幌市南区川沿13条2丁目5-22 代表 011-821-7000

明るく柔らかな色調で統一され、和やかな明るさに包まれています。
医療体制は愛全病院と連携しており、安全を期しております。
入所施設/定員106名(ショートステイを含む) 愛全病院併設



養護老人ホーム 静山荘 〒005-0849 札幌市南区石山837-21 代表 011-591-5532

全室個室の養護老人ホーム。自然に恵まれた環境で、ゆっくりと穏やかに生活できます。
入所施設/定員100名
※ 入所ご希望の方は、現在居住の区役所保健福祉部へお申し込み下さい。



ケアハウス ローザガーデン 〒005-0849 札幌市南区石山837-46 代表 011-592-8000

居住機能と福祉機能を併せ持つ限りなく「住まい」に近い施設です。
個性あふれるクオリティ豊かな生活をご提供いたします。
入居施設/定員100名(一部特定施設入居者生活介護)
※ 入所ご希望の方は、現在居住の区役所保健福祉部へお申し込み下さい。



私たちは人間愛と責任感に基づき、優しい医療・介護に努めます。

特集

回復期 リハビリテーション

MOMENTUM AIZEN STYLE 愛全トピックス

看護部新入職員研修ほか

平成22年7月15日発行
編集人/高橋真理 医療法人愛全会 愛全病院
発行所/医療法人愛全会 愛全病院
〒005-0813 札幌市南区川沿13条2丁目1番38号
代表電話(011)571-5670
愛全会HP www.aizenkai.or.jp/



病院長/理事
川合 榮邦

『十年一昔』

介護保険制度が発足した時に医療の分野から療養・介護の分野へとトラバユして以来、私は介護療養病棟あるいは介護老人保健施設そして時には特別養護老人ホームなどで介護保険制度と向き合ってきました。病院長の職にあつては医療と介護の狭間を移ろっていることにもなります。

この間、世の中は変化が激しく正に十年一昔です。なかでも食費・居住費が保険適応外となり、医療区分・日常生活動作区分の導入は愛全病院の在り様を揺さぶり続けています。

特別養護老人ホームへの入所待機者が著増している時期に、介護保険による療養病床を廃止するという策が台頭しました。しかし市民の強い意志が働いた結果、今は凍結されています。

今後、多くの国民が納得出来る負担を含めた適切な慢性期医療・介護が展開されることを切に願っています。

私は、昨年7月に愛全病院に入職する縁を賜り、9月から急遽、介護老人保健施設アートヒルズに配転を授かりました。ほぼ1年間が経過しようとしております。私はそれまで経験していない多くのことを、ご利用者の皆様から学ばせていただいております。ご利用者・ご家族の皆様は「教科書」そのものです。職員の英知を結集し、毎日を楽しく、明るく、謙虚に、そして皆様との絆を大切に相互に助け合うことができる施設の構築に邁進して行きます。

平成7年10月開設の当施設は、本年15年を迎えます。この15年を記念し職員一同、今一度高齢者への敬意と専門職の初心とを忘れずに、介護・保健・福祉・医療の原点を真実に再認識し、ご利用の皆様少しでもご満足いただけますように努力を重ねます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

『アートヒルズを
よろしく
お願いいたします』



顧問/理事
アートヒルズ施設長
藤本 征一郎

愛全病院の外来診療2日間のほか、アートヒルズ、リラコート愛全に顔を出す日々です。

超高齢社会に突入している我が国では、頼もしい組織である愛全会の仲間と共に“幸せなライフサイクル”としての老いを支える臨床医学の一助となれば、との思いで仕事をしております。

申し遅れましたが、私は北大39期です。昭和49年全国初の専門内科講座として発足した北大循環器内科に講師として、北大第一内科助手から移籍し、平成5年同助教授で退職するまで、臨床教育と循環器病臨床の第一線で汗をかいてきました。臨床医、循環器専門医として45年も過ぎたが、と今更驚いていますが“無事これ名馬”と診療に専念。

どうぞよろしく。



顧問
小林 毅

『無事これ名馬』



顧問
院長特別補佐
松原 泉

救急集中治療を20数年行った後、高齢者、慢性期医療に携わり8年目となりました。慢性期医療は、介護度と医療区分、そして終末期がキーワードです。数年前導入された医療区分は、集中治療の重症度区分からの応用といわれています。既に、診断・治療方針がほぼ決まっている患者様の治療と、看護・介護にこれからも力を尽くします。



副院長
診療部長
大岩 彰

平成8年10月より愛全病院に入職し、今年で14年目になります。療養型の病棟を受け持ち、いつの間にか古株になってしまいました。医療・介護を取り巻く状況はますます厳しさを増しており、病院体制の見直しが迫られる事態となってきております。又、昨年度より札幌市医師会の理事に就任し、大変重い責務を感じながら務めております。

新任医師のご紹介



金谷 聡一郎
平成22年4月入職
外科・整形外科
消化器科
呼吸器科

北大第2外科入局後、医師として27年間ゼネラルに対応できるように外科・消化器科・呼吸器科・整形外科等を研鑽してきました。私の理念は“患者様を決して見放さない・病ではなく人を診る”です。愛全会に関わる全ての皆様の“かかりつけ医”として、未永くよろしくお願いいたします。



山田 康之
平成21年12月入職
内科・消化器科

これまで大学病院、一般病院、自治体病院などで、主に内科・消化器内科の診療、地域医療、緩和医療に携わってきました。微力ではありますが、当地域の医療に最大限貢献したいと思っております。



居川 幸正
平成22年3月入職
リハビリテーション科
日本リハビリテーション
医学会専門医

平成22年3月に前任の土田先生から引継いで、リハビリテーション科と回復期病棟を担当しています。愛全病院には、大学病院からの出張医として以前から御縁がありました。入職後も顔見知りの仲間と一緒に仕事ができるのは嬉しい限りです。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。



清水 智
平成22年4月入職
整形外科

4月から常勤として愛全病院の診療に携わることになりました。地域における高齢者・慢性期医療に微力ながら貢献できればと考えております。

ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

特集

回復期リハビリテーション



当院の回復期リハビリテーション病棟は、脳血管障害や骨関節疾患、内科疾患による廃用症候群など、あらゆる原疾患に対応しています。

専属24名を含めた総勢78名の理学、作業療法士・言語聴覚士を擁し、機能回復を強力にサポートしています。

また、多数の関連施設との連携による、退院後の療養生活まで含めた永い緻密な支援は、地域でも随一です。



担当医師
居川 幸正



パワーリハのマシンも完備

訓練の合間にコーヒーサービス

4つの個室を配置した言語聴覚室

愛全病院リハビリテーション部

愛全病院リハビリテーション部では、在宅復帰へのリハビリや介護施設での生活に適応できる様にADL向上を全力で支援しています。

特に、回復期リハビリテーションでは専門スタッフによる集中的なリハビリを行っています。

理学療法士 37名
作業療法士 33名
言語聴覚士 8名

(平成22年4月1日現在)

回復期リハビリテーション病棟

(医療療養病棟 回復期リハビリテーションII算定)

2階2病棟 51床

担当医師 5名 担当リハビリ 24名
担当看護師 17名 担当介護士 14名

脳血管疾患・脊髄損傷・脳腫瘍、大腿骨・股関節・膝関節等の骨折外科手術や肺炎などの安静により廃用症候群となってしまう方々が、疾病発症または手術後2ヶ月以内にご入院いただき、集中的なリハビリテーションを行う病棟です。

土・日・祝日もリハビリできます

リハビリ部主任 作業療法士 本間千尋

当院の回復期リハビリテーション病棟では、51床に対して専任の理学療法士12名・作業療法士12名が在籍し、必要に応じて言語聴覚士が介入しています。

土・日・祝日も平日同様に患者様へのリハビリをご提供しています。家庭や社会復帰に向け、訓練室だけではなく、生活の場である病棟でも必要な動作を獲得できるよう、積極的に訓練を実施しています。



ご自宅への退院を目指して

医療相談室 社会福祉士 園田暁子



回復期リハビリ病棟のMSW(医療相談員)は、入院前の事前面談から退院まで一環して、患者様やご家族様をサポートさせていただいています。

一生懸命にリハビリをされている患者様と、それを支えるご家族様のお話を伺い、限られた期間の中で今どのような支援が最適なのかを考えながら、お一人お一人の患者様と毎日向き合っています。

病棟生活すべてがリハビリ

看護部科長 看護師 中嶋美佐子

回復期リハビリテーション病棟では、24時間の中で食事・排泄・入浴・洗面・着替えなど、生活の行為全てをリハビリテーション(訓練)と捉えています。

医師をはじめ、他職種と協力し「自分で出来ること」を目標とした療養上の支援や指導・相談を行いながら日々患者様と二人三脚で活動している病棟です。



愛全トピックス

札幌にも暑い夏が到来し、街は人々の活気で躍動しています。愛全病院も“熱い”職員で躍動しています。当院の基本方針にもあります「人間愛と責任感に基づく優しい医療」への取り組み。スタッフの一人ひとりが、いろんな取り組みに励んでいます。

01 看護部 新入職員研修

本年度は、愛全会グループ全体で34名の新卒職員が入職し、愛全病院には16名の職員が配置されました。患者様に安心・安全に療養していただけるよう、看護部が中心となり企画運営し、愛全病院の基本理念に始まり看護介護の基本や実践に即した研修などを行いました。



手洗実習



救急対応



離床の援助

02 看護介護研究発表

愛全病院では、良質な医療サービスの提供を目的に、各病棟それぞれがテーマを持って日々の看護介護に従事しています。日々の取り組みを、毎年研究発表会で啓蒙しています。今回は、3階1病棟（介護療養病棟）が取り組みました研究成果を看護専門誌に発表させていただきました。



後列左から、下川原科長、道上ケアワーカー
前列左から、川淵介護福祉士、丹治看護師、鈴木介護福祉士



北海道新聞社発行
ベストナース
2010年3月号掲載
(P62～63)

研究発表

『胃瘻自己抜去防止に向けた取り組み』
～抑制緩和を目指して～

03 医療相談室 / 地域連携室

医療相談室では入院についてのご相談以外にも、車椅子やベッドの購入方法や家族様の介護についてのご相談、退院後の通院や自宅でのリハビリのことなど、専門の相談員が皆様のご対応をいたします。地域連携室では、愛全病院だけではなく愛全会の他の施設サービスにつきましても、連携病院様の窓口役としてご対応させていただきます。

リニューアルした相談ルーム



栗原相談員 杵淵相談員 神宮相談員 園田相談員 医療相談室 係長 齊藤 龍市 地域連携室 係長 坂本 知幸

04 NST (栄養サポートチーム)

NSTは栄養サポートチームともいいます。様々な医療スタッフがチームを組み、患者様に最もふさわしい方法で栄養状態を良好に保つことを目的とするチームです。栄養状態が悪いと、どれだけ治療してもなかなか回復しませんし、褥瘡や感染症を起こしてしまうこともあります。このような問題を解決するための栄養支援チームがNSTです。

写真上) 関連スタッフによるカンファレンス
写真下) 栄養管理研修



05 ボランティア活動

財団法人北海道女性協会
ボランティアビューローコスモスの皆様

愛全病院では、患者様の療養生活の充実のため、多くのボランティアの方々にご協力いただいております。ボランティアビューローコスモスの皆様には、月に一度歌や踊りをご披露いただいております。



06 平成23年4月オープン予定 高齢者専用賃貸住宅 『愛全会が考える、 高齢者住宅の姿がここにあります』

昭和44年の愛全病院開設以来、病院・介護施設・在宅サービスと、私たち愛全会は高齢者のライフサポートに全力を注いでまいりました。この40年以上のノウハウを生かし、高齢者専用賃貸住宅を建設し、より多くの方々のライフサポートを目指します。

【問合せ先】 TEL : 011-572-2525
開設準備室 担当：赤塚

